

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 病院経営を人事管理、用度管理、施設管理の視点から指標を定め、黒字同規模病院の平均値を基に目標値を設定している。職員給与費割合の実績は目標値を達成しているが、今後は新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益が減少し、数値が悪化することが懸念される。医療材料費の割合はベンチマークシステムの活用により昨年度よりは減少したものの、依然目標値を上回っている状況である。また施設管理、医療機器等整備については、耐用年数や緊急性などから優先順位を適切に把握し、随時、更新や修繕を行っていく必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 秩父地域の住民に対してより良い医療を提供できる環境をつくるためには、人事管理、施設管理、医療材料等の用度管理、医療機器等の管理など多岐にわたる事業を円滑に行い、経営の基盤が確立されている必要がある。いずれの事業も必要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 市直営の病院であるが、秩父保健医療圏(1市4町)の二次救急医療体制を維持するため、民間の2病院とともに病院群輪番制の役割を担っている。また、地域に不足している医療或不採算部門の医療についても担っていく必要がある。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述</p> <p>枝番号04医療機器等整備事業を特に重点化する事業とした理由は、引き続き安心・安全な医療を提供するために老朽化した医療機器を更新する必要があるからである。令和2年度は多項目自動血球分析装置やスチームコンベクションオープンの更新を行い、令和3年度以降も耐用年数、使用頻度を考慮し、随時更新していく予定である。</p> <p>枝番号03市立病院施設設備維持管理事業を重点化する事業とした理由は、医療機器と同様に老朽化に伴い、修繕や設備の更新が必要となっているからである。令和2年度は吸引装置更新工事や非常放送アンプ更新工事を行うなど、適正な維持管理に努めていく必要がある。</p>		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	医療材料の購入において、ベンチマークシステムを活用した価格交渉を進め、適正な価格での契約締結を行うとともに、在庫の適正管理を行うことにより医療材料費の削減を図る。 また、新型コロナウイルス感染症対策を適正に行うため、国や県の動向や情報収集に努めるとともに、院内の感染対策を強化する。	30年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 医療材料の購入についてはベンチマークシステムを活用した価格交渉を進め、適正な価格での契約締結を行うとともに、医薬品については薬剤科と連携して、ジェネリック医薬品の採用を増やし、削減に繋げていく。 医療材料の適正価格での契約締結やジェネリック医薬品の採用を進めた結果、若干であるが、数値の改善がみられた。しかしながら、目標値に達していないので、今後も継続して改善を進めていく必要がある。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	安心・安全な医療を提供するため、手術室等で使用する吸引装置の更新工事を行う。また、災害時・緊急時に適正な対応が取れるよう、非常放送のアンプ更新工事を行う。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県の補助金を活用して、入院患者を受入れるために医療機器の整備等を行う。	夏期の高温対策として、空調機器改修工事を行い、安心・安全な療養環境を整備する。 令和元年度に実施設計及び工事を行い、工事が令和2年度に繰り越されたものの、夏には空調機を使用できる予定である。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(3) 基本事業・事務事業の継続的改善
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案	新型コロナウイルス感染症対策として、医療用消耗備品の備蓄や病床の確保、医療機器の整備を行うとともに、新公立病院改革プラン、市立病院中長期計画に基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進める。	新公立病院改革プラン、市立病院中長期計画に基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進める。 改善が図られている事業もあるが、経営の健全化には至らず、平成28年度以降、毎年度純損失を計上している。改善効果が収支に結びつかない面も見受けられ、目標を達成するのが困難な状況である。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 市立病院の基盤である施設・設備・人員体制・経営が安定することで、住民が安心して医療を受けられる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	北堀 史子	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	13070001	担当課所名	市立病院 医事課
基本事業名 市立病院医事事業			
総合振興計画 の位置づけ	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 48 ページ

基本事業の概要	良質な医療を効率的に提供する環境を整え、迅速な患者対応及び適切な医療に対する請求・収納を行う。
---------	-------------------------------------------------

対象	患者
意図 (対象をどのようにしたいか)	健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	30年度	評価年度(1年度)		3年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市立病院患者数	入院外来年間延べ 受け入れ患者数	人	116,250	120,000	114,286	123,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指標			1年度	単位	事務事業評価 3年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		30年度決算額	1年度決算額	2年度予算額	実績値(下段)			
01	医療情報システム維持管理事業	指標:待ち時間満足度			65	%	A	
		94,989,959	89,501,863	94,281,000	69.6		維持:維持	
02	医療費請求・収納事業	指標:医療費査定率			0.16	%	B	◎
		66,750,177	69,410,684	79,065,000	0.09		維持:拡充	
03		指標:						
04		指標:						
05		指標:						
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円)		163,620,000	162,698,000	
事業費の合計(円)		(A) 161,740,136	158,912,547	173,346,000
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定 一般財源	16,946,000	8,464,000	16,913,000
		144,794,136	150,448,547	156,433,000
正規職員	業務量 人件費(B)	4.44人 26,823,532	4.32人 26,180,868	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量 人件費	0.00人 0.00人	0.00人 0.00人	
事業費合計(人件費込み)(円)		(A)+(B) 188,563,668	185,093,415	

【重点化欄】

評価時点以降の事業の方向性から
◎:特に重点化必要事業(1つ以内)
○:重点化必要事業(1つ以内)
△:劣後化可能事業(1つ以内)
▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C
	維持	×	×	B	A	×
	縮小	×	×	C	×	×
	休廃止	×	D	×	×	×
	完了	D	×	×	×	×
完了 皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性						

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするため、より多くの患者に利用していただけることを目標に掲げた。患者に安心安全な医療を実感していただくことで、受診者数を伸ばし、健全な運営を継続していけるよう、基本事業の意図として適切な指標であると考え。実績値については、目標値を達成できず、昨年度より受入患者数は減少した。主な要因としては、1月、2月、3月で、新型コロナウイルス感染症の不安により、特に外来の内科・整形外科・小児科で受診者数が減少した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った診療内容について、医療情報システムを利用し可能な限り短時間で算定を行い、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業においては医療費請求・収納業務は必須であり、適切な医療に対する費用の請求・収納を行い、請求した診療報酬を全て受領できることで安定した運営を継続し、患者に対して安全な医療を提供するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域の中核となる公的病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 『医療費請求・収納事業』を重点化する事業として選択した理由は、二次救急輪番日の増加に伴い患者数の増加が見込まれ、保険証の不提示や交通事故などの受診が増えることにより、未収金の増加が懸念されるため、医業収益の安定的な確保を図ることが重要であり、今後も重点的に取り組む必要があるため。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	二次救急輪番日の増加により、夜間スタッフの事務作業軽減のため、預り金制度を令和2年度から導入する。これに伴い、未収金の増加が懸念されるため、預り金制度に係る未収金対策が喫緊の課題である。	30年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 院内多職種で、診療報酬算定について、情報共有を図ることで、本来算定できる加算の算定漏れ等をなくし、医業収益の増加につなげる。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	2015年8月より稼働している病院の基幹システム「電子カルテシステム等」の現行システムの使用期限が2021年7月末であり、いよいよ次期システムについて来年度予算要求する時期となる。多大な費用を伴うシステムのため、費用対効果を考慮した更新の方針並びに予算要求について、院内で検討する必要がある。	2015年8月より稼働している病院の基幹システム「電子カルテシステム等」の現行システムの使用期限が2021年7月末であり、次期システムについて検討する時期となっている。多大な費用を伴うシステムのため、費用対効果を考慮した更新の方針について、院内で検討及び取りまとめを行う。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 診療部門と医事部門の連絡・調整がスムーズに図られることで、待ち時間の短縮や医療費請求が適切に行われる。患者サービスが向上し安心・安全な医療の提供に繋がる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	森下 喜子	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	13080001	担当課所名	市立病院診療所事務局
基本事業名	大滝国保診療所管理運営事業		
総合振興計画 の位置づけ	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
		総合振興計画	48 ページ

基本事業の概要
 所内施設の維持管理及び医療機器の更新等計画的に実施して、診断水準の向上を図りより良い医療、看護が提供できる環境を整備すると共に診療内容について患者のニーズや費用対効果等に見合う事業の実施に努める。

対象
 診療所利用患者
 意図
 (対象をどのようにしたいか)
 より良い医療と看護を提供し、疾病を治療して健康への快復を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	30年度	評価年度(1年度)		3年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
大滝診療所患者数		人	3,406	—	3,160	—	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指標			1年度	単位	事務事業評価 3年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		30年度決算額	1年度決算額	2年度予算額	実績値(下段)			
01	内科診療事業	指標:内科患者数				人	A	
		542,480	867,968	981,000	3,000		維持:維持	
02	診療所施設整備・維持管理事業	指標:診療所利用患者数				人	A	
		6,681,996	14,945,182	21,162,000	3,160		維持:維持	
03	医療材料購入事業	指標:医療収益に占める材料費の割合			50	%	A	
		22,334,719	19,770,716	32,496,000	47		維持:維持	
04	医療機器等整備事業	指標:年間医療事故数			0	件	A	
		381,045	0	881,000	0		維持:維持	
05	送迎車運行事業	指標:年間送迎者利用者数			950	人	B	◎
		3,445,208	2,211,716	6,451,000	768		縮小:維持	
06	歯科診療事業	指標:歯科診療患者数				人	B	
		3,148,952	2,977,507	2,511,000	153		縮小:維持	
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円) 62,273,000 61,837,000

事業費の合計(円) (A) 36,534,400 40,773,089 64,482,000

財源内訳	国庫支出金	12,919,000	12,762,000	14,678,000
	県支出金	2,755,000	10,069,000	11,814,000
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	20,860,400	17,942,089	37,990,000

正規職員	業務量	5.00人	6.00人
	人件費(B)	30,206,680	36,362,316
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	3.47人	2.73人
	人件費	7,182,656	7,580,336

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 66,741,080 77,135,405

【重点化欄】

評価時点以降の事業の方向性から
 ◎:特に重点化必要事業(1つ以内)
 ○:重点化必要事業(1つ以内)
 △:劣後化可能事業(1つ以内)
 ▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C
	維持	×	×	B	A	×
	縮小	×	×	C	×	×
	休廃止	×	D	×	×	×
	完了	D	×	×	×	×
		完了	皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性						

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 大滝国民健康保険診療所は、高齢化や過疎化が著しい大滝地区で唯一の医療機関であるため、住民が安心して診療が受けられ、より健康的に生活を維持していけるように運営の継続は必須である。一方で、一般財源からの繰入金金を減少させることも重要で、創意工夫をし患者数の維持を図る必要があり、目標としては適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 住民が安心して医療サービスを受けられるよう、枝番号01から04までは医療機器の整備をはじめ患者送迎車及び往診用自動車の適正管理・運行を図るとともに、受診等も含めた地域医療体制の充実を図るために事務事業として妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 大滝国民健康保険診療所は、過疎化、高齢化が著しい大滝地域における唯一の医療機関であることから、市が運営することが妥当であると考えられる。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 05送迎車運行事業において、患者送迎用バスの老朽化に伴う更新に合わせて送迎車を10人乗りワゴン車へ小型化することにより経費削減を図るため最重点とする。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	歯科診療事業においては、診療日数削減後も患者の診療が適正に行われているか検証する必要がある。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(3)基本事業・事務事業の継続的改善
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	薬品保冷库及び錠剤棚が老朽化により支障をきたしているため、薬品の更なる適正管理を目指すため更新する。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(3)基本事業・事務事業の継続的改善
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 薬品が適正に管理されることにより、医療サービスの更なる向上が図られる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	青野 滝子	電話番号 0494-55-0341
----------------------	-------	----------------------